



Bーぐる沿線協議会ニュース

第4号

平成24年3月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 文京区区民課コミュニティバス担当 03-5803-1387

23年度最終協議会で、以下の議案が審議・承認されました

新しい公共支援事業モデル事業「Bーぐるでつながる新しいコミュニティ創出事業」について
沿線協議会23年度、24年度収支予算
「Bーぐるでつながる新しいコミュニティ創出事業」が採択されたことによる沿線協議会の運営規

約の設置と会計管理規定の設置及び支援対象者についての情報開示依頼について

文京区地域公共交通会議への委員推薦

Bーぐる義援金付き一日乗車券の販売終了

「Bーぐるでつながる新しいコミュニティ創出事業」が始まりました！

昨年11月に本協議会が応募した「Bーぐるでつながる新しいコミュニティ創出事業」が東京都新しい公共支援事業モデル事業の一般枠で採択され、1月6日付で助成金の交付が決定されました。

事業期間は平成23、24年度の2ヶ年で実施される予定で、23年度の主な事業はBーぐる沿線地域の団体や公共施設のイベント等情報を映像で紹介するDVDの制作及び機材購入、沿線地域の協力店「+ワン!(プラスワン)」サービスの利用促進と身近な地域への関心を高めてもらう小冊子「Bーぐるで巡る+ワン!ショップ&サービスガイド」とステッカーの編集・制作事業です(助成額196万円)。制作された小冊子は4月以降、無償配布される予定です。

平成24年度はBーぐる車両(千駄木・駒込ルート)にテレビモニターを購入設置して制作したDV



DをBーぐるを利用する皆さんや地域の方々に見ていただき、沿線地域でどのようなイベントや活動が行われているか知ってもらい、参加してもらおうというものです(助成額737万円)。

これらを含めた事業計画は以下の通りです。



協力店に配布予定のステッカー

区 分	23年度	24年度
1. 地域情報発信事業		
2. イベント事業		
プラスワン! 利用促進キャンペーン		
区民まつり(Bーぐる Cafe)		
移動展覧会		
Bーぐる朝市		
3. ボランティアとサポート会員の募集		
4. 調査事業(実施事業の検証)		
5. 協議会運営(事務局)		

Bーぐる沿線協議会 23年度収支予算案報告、 24年度収支予算案報告

前回の協議会后に事業が採択されたため、23年度分もあわせて24年度分とともに両年度案が承認されました。

Bーぐる沿線協議会の組織運営規約と会計管理規定等について

助成金を受けることにより、東京都から要求されている協議会規約の他に組織運営規約、会計管理規定を新たに設け承認されました。監事2名の選任については上本委員、植村委員(条件付き) 会計管理人2名は松井委員、玉澤委員が承認されました。

新しい公共事業支援対象者についての情報開示依頼を行い事務局で取りまとめ

新しい公共事業の支援対象者、モデル事業の実施主体、支援事業の受託者等について、情報開示を求めよう東京都から求められていることに対して、その実現を果たすよう委員から推薦のあった各団体に要請し事務局がフォーマットにもとづいて開示する支援を行うことになりました。

文京区地域公共交通会議の委員推薦について

住民または利用者の代表の一人としてBーぐる沿線協議会から佐藤委員が立候補し、同委員を推薦することになりました。

Bーぐる義援金付き一日乗車券の販売が終了

昨年7月15日から販売開始した義援金付き一日乗車券が3月25日で販売を終了します。1月末迄に790枚を販売、これに2・3月分を加えた合計額(79,000円+2月・3月分)を文京区を通じて被災地に寄付する報告がありました。

参加委員から出された意見

事業における助成金のあり方

新しい公共創出事業について都の助成金が終了した時の考え方について質問がありました。今後協議会の構成団体等と相談して行きたいということです。

第1路線、第2路線の乗り換えについて

第1路線、第2路線の乗り換えが共通にならないかという意見がありました。これは基本的には減収につながることであり、これが乗車人数の増加につながることもあるかもしれないが、調査等によりデータが揃い、また2路線の乗降状況を見ながらの検討事項とすることになりました。

区民課からは、24年度の調査で第1路線から第2路線へあるいはその反対に利用する人の実態を調べ、見極めていきたいとのことでした。

台東区の「めぐりん」は3路線、1日1回100円で2路線乗り継げるようになっていることなども参考にしていきます。

Bーぐる車内でのマナー

Bーぐるの狭い入口付近で混みあう時は車内の奥に詰めるよう、小さな子供連れやベビーカーをもってきた人に対して乗降時に気をつけるよう呼びかけるなど、運転手さんにもひと言注意を促してほしい。

Bーぐるを使った新しいコミュニティづくり

大いにBーぐるを使って、よいコミュニティをつくって行きたい。新しい公共事務局ではどこへでも取材に出かける用意があるので、声をかけてください、という事務局長からのお願いがありました。

今回は6月に開催、内容はBーぐる事業の収支報告、新しい公共23年度事業報告を予定しています。

編集後記

23年度最後の会議は盛りだくさんの議題で、委員の皆様も検討に大変だったようです。とくに本協議会の活動が「新しい公共」のモデル事業に採択されたことで、会計規約や監事の設置などが求められることになり、その就任要請に対して慎重な姿勢が見られたことが印象的でした。昨今、説明責任という言葉が重視され、その求める対象が広い意味でのいわゆる利害関係者にまで拡大してきている現状への反応かと思われます。そのことで社会活動が萎縮してしまうのは本末転倒だと思いつつ同時に、協議会がよりよい地域社会を目指して公平な活動する限りにおいて、そこに萎縮する要素はないと思います。来年度も活発な活動に期待したいと思います。(山)